

巻 頭 言

九州地区大学体育連合会長 齊 藤 篤 司

昨年度から「大学体育の質保証と評価」をメインテーマに大会を行ってきました。ここでの大学体育はいわゆる教養教育としての体育ですが、その質の保証とは何でしょうか。大学基準協会の認証評価では評価の目的を『大学の教育・研究活動等の質を社会に対し保証すること。』とし、『特に、社会に対して保証する「大学の質」については、大学が掲げる理念・目的の達成に向けた活動を行っていること。』としています。活動を行っていることが質なのでしょう。

田中弥生氏（大学評価・学位授与機構教授）は『質とは何を意味するのか。その定義や解釈は曖昧模糊としている。明確なイメージを持たずにキャッチフレーズとして用いているように見える。』とし、さらに誰のための質保証なのかと問うています。『高額な授業料を支払う学生（消費者）に対して、大学が提供する教育サービスが確かなものであり、さらには大学が授与する学位が信用できるものであることを学生に対して保証することが求められている。学生という消費者に対して教育サービスとそこで得られる学位の信頼性を明確に示さねばならなくなったということだろう』としています。特に産業界が求めているのは教育課程というよりも、教育課程の結果について保証を求めているように見え、学生が大学で何を学び、どのような能力を身につけたのかを証明することが質保証ではないかと。

一昨年、シンポジウム「選択の時代を迎える大学体育について考える」で発表するにあたり、これまでの大学体育を振り返る意味で読んだ資料の中の言葉がいまだに頭から離れません。九州大学健康科学センター初代センター長故緒方道彦先生が昭和54年に全国大学体育指導者研修会において講演された「一般教育とくに保健体育のあり方」の中の言葉『形式的重視』と『実質的軽視』です。健康というのは人間生活の基本であることは明らかなので、大学に体育は必要ないと堂々と論陣をはれる人はいない。つまり、形式的重視はするが、実質的には軽視することで、つじつまを合わせているのではないかと言うことです。35年以上たった今、私たちはつじつま合わせではない大学体育教育を行っているのでしょうか。

この時はこの言葉にのみ目をとられていたのですが、巻頭言を書くに当たり、もう一度読み直してみました。そこには将来を見据えた提言がなされていました。『大学卒業生の仕上り基準がどうであつたらいいかを考える場合、大学でやることは、一生続いていくべき自己学習に対する準備教育をやる場所である。』つまり、どのような学生を作ろうとしているのか、という考えなしに、教育はあり得ないだろうと言われているのではないかと思います。大学体育は本当に大学教育の中で存在意義があるのでしょうか。大学教育に対するコストに対し、十分なベネフィットを主張できるのでしょうか。形式的重視に匹敵する実質を考え、生み出す必要があり、その実質をどういうアプローチから考えたらいいかということが必要であり、形式的重視を逆用し、社会的要請を背景にした改善が試みられるべきでしょう。そしてそれは体育の中の閉鎖的な問題ではなく、市民を輩出する大学として、考えていくべきではないかと思います。

最近、全国大学体育連合でも脱退する大学が出てきました。会員は大学であり、代表者は学長です。大学が退会するということは、その大学の大学体育に対する姿勢を表しているというのは考えすぎでしょうか。九州地区大学体育連合が大学体育をより積極的に、よりよいものに変えていく組織であることを願います。

目 次

巻 頭 言	齊藤 篤司 (九州地区大学体育連合会長)	1
I. 教育研究論文		
1. 原著論文		
大学卒業時における学士力と大学体育の関係		
..... 西田 明史 (西九州大学短期大学部) 則元 志郎 (熊本大学教育学部)		
村上 清英 (中九州短期大学) 笠井 妙美 (東海大学阿蘇教養教育センター)		5
2. 研究資料		
自己調整学習理論に基づく体育授業が大学新入生の体育適応感と学校適応感に及ぼす影響		
..... 須崎 康臣 (九州大学大学院人間環境学府)		
杉山 佳生 (九州大学大学院人間環境学研究院)		16
II. 平成26年度体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議		
1. 研修会プログラム		25
2. 特別講演		
教養体育の評価と指標開発のアイデア	小林 勝法 (文教大学)	26
3. 九州地区体育連合2014年度春季研修会 シンポジウム「大学体育の質保証と評価 (2)」		
..... コーディネーター 則元 志郎 (熊本大学)		
コメンテーター 大浦 隆陽 (福岡国際大学)		32
1) 大学体育はどのような人をつくろうとしているのか	齊藤 篤司 (九州大学)	32
2) 鹿屋体育大学の『教育の質保証に向けた取り組み』から、大学体育の可能性を探る		
..... 金高 宏文 (鹿屋体育大学)		33
3) 教育課程全体から見た大学体育の役割	西田 明史 (西九州大学短期大学部)	34
4) 大学におけるキャリア教育とその評価		
— 求められる教育再生, 模索する「学修成果の可視化」 —		
..... 山崎美美子 (北九州市立大学)		35
4. 研究発表		
1) 大学体育授業における挑戦的目標設定がレジリエンスに与える影響について		
..... 藤原 大樹 (保健医療経営大学)		36
2) 大学体育授業における学修成果の可視化		
— 学生の主観的恩恵に基づいたプロフィール化の提案 —		
..... 西田 順一 (群馬大学) 橋本 公雄 (熊本学園大学)		
木内 敦詞 (筑波大学) 山本 浩二 (北九州市立大学)		
谷本 英彰 (東亜大学)		38
3) 運動部に所属している女子大学生の体力に関する研究		
— 競技歴と運動能力の関係に着目し —		
..... 金 相勳 (長崎国際大学人間社会学部国際観光学科)		
元嶋菜美香 (長崎国際大学人間社会学部国際観光学科)		
田井健太郎 (長崎国際大学人間社会学部国際観光学科)		
宮良 俊行 (長崎国際大学人間社会学部国際観光学科)		
熊谷 賢哉 (長崎国際大学人間社会学部国際観光学科)		41

4) 大学ソフトボール授業における反転授業の実践報告	北 徹朗 (中央大学保健体育研究所客員研究員, 武蔵野美術大学)	
.....	森 正明 (中央大学)	44
5) 大学新入生の大学適応感を促すための体育授業について		
— 自己調整学習の視点から —		
.....	須崎 康臣 (九州大学大学院) 杉山 佳生 (九州大学)	46
6) 大学生の授業適応を高めるための授業環境の設定		
.....	阪田 俊輔 (九州大学大学院) 杉山 佳生 (九州大学)	48
7) 大学生における健康行動変容のステージを決定する要因に関する研究		
— 体育学部生を対象とした生活習慣との検討 —		
.....	村手 一斗 (中京大学大学院) 松本 幸大 (中京大学大学院)	
	小磯 透 (中京大学スポーツ科学部) 柿山 哲治 (福岡大学スポーツ科学部)	51
8) 大学生のスポーツ活動を促進させるプログラムの検討		
— 福大朝スポ倶楽部の現状と課題 —		
.....	瀬尾賢一郎 (福岡大学) 永山 寛 (福岡大学)	
	満石 寿 (福岡大学) 櫻木規美子 (福岡大学)	
	水崎 佑毅 (福岡大学) 檜垣 靖樹 (福岡大学)	
	築山 泰典 (福岡大学) 藤井 雅人 (福岡大学)	55
5. シンポジウム『大学体育の質保障と評価』に参加して	北 徹朗 (武蔵野美術大学)	58

Ⅲ. 事務局報告

平成26年度 九州地区大学体育連合事業報告	59
平成26年度 第1回理事会議事録	60
平成26年度 第2回理事会議事録	61
平成26年度 第3回理事会議事録	62
平成26年度 総会議事録	64
平成26年度 決算報告	66
平成27年度 九州地区大学体育連合補正予算	67
平成27年度 事業計画	68
「体育・スポーツ教育研究」の論文投稿のご案内	69
九州地区大学体育連合研究助成規定・施行細則	70
九州地区大学体育連合規約	71
平成26年度 九州地区大学体育連合 役員名簿	72
平成27年度 九州地区大学体育連合 役員名簿	73
平成26年度 九州地区大学体育連合 加盟大学および個人	74
平成27年度 九州地区大学体育連合 加盟大学および個人	75
平成26年度 賛助会員一覧	76
平成27年度 賛助会員一覧	76
編集後記		